



真名子小だより 9月号

えが お

教育目標
進んで学ぶ子
思いやりのある子
笑顔はじける元気な子



令和2年9月1日

発行者 布川嘉英

16日間というこれまでにない短い夏休みでした。長い梅雨と西日本での豪雨災害、8月1日からは一転して猛暑。更に新型コロナの感染の終息も見通しが立たず、気の抜けない毎日です。それでも子ども達は1人の欠席もなく、元気に2学期を迎えました。子ども達の明るい笑顔は私たちに元気を分けてくれます。これから4か月余りの長い2学期ですが、まずは子ども達に通える状態に感謝し、充実した『実りの秋』にしていきたいと思えます。

8月17日 2学期始業式

まだ8月のお盆が明けたばかり。真夏の暑さが残る中、空調の効く音楽室で始業式を行いました。5年生による『2学期の抱負』では、「運動会や持久走大会で、6年生のサポートや高学年としての活躍をしたい」や「4・5月の学習の遅れを取り戻すようにがんばりたい」といった高学年らしい意気込みが発表されました。

2学期の目標／5年生の発表 →



8月23日 PTA奉仕作業(環境整備活動)

8月30日 PTA資源ごみ回収作業

二週続けてのPTA作業でした。2学期を迎えての環境整備では、校庭周りが見違えるようにきれいになりました。保護者の皆さんが草刈り機を持ち寄って作業をしてくださる姿、子ども達が一生懸命花壇をきれいにし、刈った草を集める姿、みんなで心をつなげて作業する姿に、校歌の一節にある『美しい小学校』を感じました。



8月28日 今年最後の水泳授業

今年はコロナ感染症のために、水泳の授業が実施できるかどうかとても迷いました。しかし、更衣時の密集を避けることで、感染はある程度防げると判断し、実施しました。7月は雨続きでほとんどプールを使用できなかったため、今年度は8月いっぱい水泳の授業を実施することとしました。夏休み明けは残暑が厳しく、子ども達はプールをとっても楽しみにしていたようです。写真は今年最後の水泳授業の風景です。



8月28日 若井栞先生の教育実習終わる

1学期末と夏休みを挟んで2学期最初の計3週間にわたる教育実習が終わり、若井先生は来週から大学の授業に戻るようになります。先生は真名子小の卒業生で、後輩の皆さんととても仲良く過ごしてくださいました。これからまた半年間勉強して、立派な養護の先生になってくださるよう、みんなで応援しましょう。

若井先生のごあいさつ

私は養護教諭になるために、真名子小学校で実習をさせていただきました。児童の皆さんとは仲良く、そして明るく楽しい時を過ごすことができました。竹内先生を始め、教職員の方々のおかげでたくさん学ぶことができました。こんな大変な中、実習を受け入れていただいたことに感謝したいです。ありがとうございました。



2学期の学校行事・各種活動について

年度当初からの新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、1学期の多くの行事が延期または中止となりました。この夏には第二波の感染拡大がありました。その後感染確認者数が減少傾向に転じましたが、県の警戒レベルは『感染拡大注意～感染観察』の境界域にあります。これから秋～冬にかけても油断はできません。2学期には数多くの学校行事が予定されていますが、慎重な判断が求められています。今後、状況を見極めながら、行事等の実施方法を検討していきます。

運動会(9月26日)

来賓、高齢者の招待は行わず、種目も密接や密集を避けるよう工夫し、昼食時の感染を避けるために午前中で解散できるように計画しています。

4・5年生の海浜自然の家での宿泊学習(12月)

交通手段の問題や見学先の受け入れ不可等により、中止することとしました。

校外学習

交通手段の確保および受け入れ先の都合により実施の可否を判断します。

真名子っ子活動

例年地域の皆様にご協力いただき、フライングディスクや輪投げ、グランドゴルフなどを実施しておりますが、今年度は感染の危険性を排除するために、実施を見合わせます。また、大宮神社清掃を地域の高齢者の皆さんと共に実施することを計画しておりましたが、こちらも合同での実施は見送らせていただきます。



ボランティアによる読み聞かせ・図書整理

「ゆめの会」「かっぱに～ら」の皆様には例年お世話になっておりますが、今年度中は見合わせます。読み聞かせは毎週1・2年生に、月に一度は全学級で、職員が交代で実施します。



2学期の感染症対策

1学期に比べて感染拡大状況は改善の兆しを見せ、規制も緩和されてきています。学校では原則として学校だより6月号に掲載した感染症対策を継続しながら、栃木市の感染防止マニュアル(最新版)に則り、過不足のない対応ができるよう修正していきます。あわせて熱中症対策も考慮しながらバランスの取れた対策を講じていきたいと考えています。

今回の感染症は潜伏期間が長く、感染したことに気づいた時には周囲にも拡散している可能性があります。ご家庭でも「自分がいつもらうかわからない。既にもらっているかも知れない。」と考えて、生活していただきたいと思えます。体温が高い、咳が出る、体調が悪い等の場合は無理せず休養して、様子を見るようお願いいたします。

9月1日 防災の日

大正12年のこの日に発生した関東大震災にちなみ、昭和35年から『防災の日』が制定されました。この時期は台風も頻繁に発生し、しかも近年はその勢力も強くなっています。昨年10月の台風19号は記憶に新しく、また全国に目を向ければ毎年のように何らかの自然災害が発生しています。過日、防災に関するシンポジウムに参加したところ、パネリストの専門家は“過去の災害を教訓に…”と言いますが、実際にはそれができないことが教訓です”と語っていました。報道で見聞きした災害は、それでも自分の身に直接降りかかるとは心底思っていないというのです。かく言う私も、地震を感じた時など「これ、大きくなるかな？」などと考えながら、安全な場所に身を隠す行動はあまり起こしていません。子ども達の防災訓練のように、もっと真剣に対応しなければならないと反省しています。

最後に、今年から真名子小学校が本地域の優先避難所となりました事を申し添えます。本校で収容しきれない場合には夢ホールも避難所として開設されます。